

わかば通信第11版寒中お見舞い号

院長より新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

昨年、2004年申年は度重なる台風の被害、新潟の地震、年末のインド洋の大津波と天災の重なる年でした。今年は穏やかな年であることを祈っております。今年から、私たちの病院は子どもが健やかに育つ社会になるように努力したいと思います。

当院では、かねてから在宅部門の充実と外来機能の充実を図っておりましたが、今年は次のようになります。四月末には在宅部門として、「わかば一丁目デイサービスセンター」・グループホーム・訪問看護ステーション・訪問ヘルパーステーションが新浜本町3丁目に完成いたします。また、消化器内視鏡センター・検診センターが病院駐車場西側に立ち上がり、外来機能が充実します。

地域の皆様のご期待に添えるよう更に安全で質の高い医療とケアを提供できるように職員一同努力いたします。

2005年1月13日 院長 近藤 彰

消化器内視鏡・検診センター長着任



この春、近藤内科病院西側駐車場に内視鏡センターを設立する運びとなりました。内科病院としまして消化器のレベル向上に一役買おうと設立を決めました。この内視鏡センターのセンター長としまして斎藤圭治先生が着任します。

斎藤先生は千葉県は亀田総合病院消化器科において内視鏡のスペシャリストとして高度な技術を誇り、関東でも評判だったとか。現在は月曜日から木曜日まで、4月からは我が近藤内科病院内視鏡センター常勤医師として診療される予定です。

現在消化器癌は国内でも増加しており、とくに大腸癌の発症率が年々急増しております。これは深刻な問題です。早期発見において治癒できることも少なくありません。早期発見のためにはやはり内視鏡による検査が一番です。裏の項、斎藤先生講師の健康教室で詳細をお話します。とはいっても胃内視鏡にしても、大腸内視鏡にしてもかなり痛みを伴う方も多いようですが、斎藤先生の技術に一度かかってみてはいかがでしょうか？

大流行ノロウイルスとは？

現在日本で大流行、施設では死者も出るほど猛威を振っているノロウイルスとはどのようなものなのでしょうか？ノロウイルスとは気温の低下する冬場（11～3月）に多く発生します。牡蠣を含む二枚貝による食中毒が多く報告されています。このウイルスは下水を検査すると年間を通じて検出されるそうです。これが河川を流れて海に流れ込みます。二枚貝などは大量に水を吸いながら餌を捕獲しますので体内に蓄積し、それを食したヒトが感染します。

ノロウイルスは比較的感染力が強く、少量のウイルスでも感染していきます。食べ物だけでなく、人→人や人→器材→人といった感染もありえます。ヒトの糞便にも検出されますので、施設などでは排泄介護に携わるときにとくに要注意です。感染すると潜伏期間約24～48時間をおいて38.0℃以下の発熱、嘔吐、下痢などが一般的で、多くが1～2日で寛解していきますが、まれに激しい下痢を伴う場合もありますので油断は禁物です。症状がなくなっても1週間程度はウイルスが便中に排出されるのでしばらくは注意が必要です。

予防法はまず二枚貝を食するときは中まで十分加熱すること。トイレに行った後や、調理に携わる人は消毒薬での手洗いを徹底することです。どうかお気を付け下さい。

斎藤圭治医師による 大腸ポリープ・大腸癌「内視鏡検査をうけたくなる話」

現在日本で死亡率は癌が脳血管障害、心臓病を超えて1位となりました。とくに生活の欧米化により大腸癌が増え続けています。罹患人口は40代から増加傾向にあり、60代がピーク、男女とも増加しています。中でも直腸癌が多くを占めています。ハイリスクとしてはポリープがある、家族に大腸癌がいる、潰瘍性大腸炎やクローン病の既往歴がある人などが要注意です。癌は早期に発見すれば5～6年単位で平均寿命を延ばせるといわれています。早期発見、早期治療が鍵なのです。

では大腸癌を早期発見するにはどんな検査が良いのでしょうか？まず血液検査は簡単に行えますが、それだけで癌の部位、状態を把握することは無理です。バリウム検査も補助的な意味合いが濃く、確定診断には至りません。便潜血検査は早期発見の意義はあまりありません。最近話題のPETも治癒を目指すまでの早期発見には今一つのようなのです。やはり最も信頼の置ける検査は内視鏡といえるでしょう。内視鏡検査は小さな癌も捉えて細胞診による確定診断が可能ですし、同時にポリープの切除もできます。

内視鏡で早期発見できれば大腸癌での死亡のリスクはかなり低下させることができます。よくポリープが見つかる人がいます。ポリープの8割は良性ですが2割は癌の可能性があります。不安な人もそうでない人もぜひお早めに。



内視鏡で早期発見された8mm大の早期大腸癌

日本医療最前線

◆ 恐怖！今年の花粉症！！

去年の夏の記録的猛暑が原因で、今年の花粉が史上最大量となりそうとのうわさで蔓延しています。10～30倍、ひどいところでは60倍に達するとの声まで！加えて今年は例年より飛散時期が早いとか。専門家は本格的に花粉が飛ぶ前にぜひ対策と呼びかけています。花粉症予防グッズも様々発売されているよう。さらに今年は各飲料会社が花粉対策飲料まで発売しています。アレルギー体質改善用の「乳酸菌」や「ポリフェノール」を配合したものとか。はてさてその効果はいかに。

◆ 徳島市内の患者からインフルエンザB型ウイルスが検出

徳島県は1月25日、徳島市内の医療機関で診察を受けたインフルエンザ患者からB型ウイルスを検出したとの発表がありました。今後3月下旬ごろにかけて局地的な流行が多発するのでは、との見方も出ています。A型（ソ連・香港）と比べてB型は爆発的な流行となる可能性は低いものの、油断は禁物。また今後A型が流行する可能性もあるのです。発症後48時間以内に服用すると症状を軽くできる薬が開発されており、40度近い高熱が出て場合などは早めの受診をお勧めします。でもなんととっても予防が一番。日々のうがい手洗いを習慣化しましょう。

information

■ デイサービスセンター「わかば一丁目」でもち投げ！

この春近藤内科病院は新浜本町3丁目にグループホーム、デイサービスセンターを設立することになりました。その名も「わかば一丁目」と申します。デイサービスセンターとは障害をお持ちの方が集まって日中、朝から夕方の中で、食事をしたり、入浴をしたり、リハビリをしたりするものです。またグループホームは認知障害のある方が共同で生活することによって自立した豊かな生活が送れるようにサポートする目的である施設です。こんな施設がこの春お目見えです。今後も近藤内科病院とともどもよろしくお願い申し上げます。

さて、僭越ではございますが来る2月13日（日）11：00より新浜本町3丁目の建設地にてもち投げを行います。皆様お誘いあわせの上、ふるってのご参加をお待ちしております。

■ 2月の健康教室

平成17年2月19日（土）15：00～ 近藤内科病院 3F カンファレンスルームにて

「高脂血症について」講師：吉本勝彦医師 をお送りいたします。高脂血症は様々な症状、病気を引き起こします。この公演をおき気になってぜひ自己管理を。

※先着60名の予約制となっております。聴講ご希望の方は受付までお申し出下さい。